



# 青梅梨の木保育園だより

第24号(23年度2号)平成23年5月10日 青梅梨の木保

河辺町6丁目12-3 電話24-7481 園長 宮川

美子

2年程前から、保育園で育てたカエルが庭に住み着いているのですが、はじめて、庭の田んぼと川に卵を産みました。昨年の夏の夕方、可愛い声で鳴いていたカエルが産んだのだと思います。カエルの餌はたくさんのお虫です。カエルが生きられるのは、保育園の庭の生態系が豊かな証拠です。カエルは自分でやってきた訳ではないので、本当の意味の生息ではありませんが、カマキリ、バッタ、コオロギなどは近所の草地からやってきて住みついています。子どもたちも虫図鑑を片手に持ち、草をかき分け、土を掘り、虫探しに熱中しています。

## 親子野菜作り教室へのご参加ありがとうございました

11組の親子さんのご参加を頂き、晴天の下、トマトの植え付けができました。鉢を置く場所にもよりますが、そろそろ虫がやってくる頃かと思います。トマトの葉が食べられていたら、ほとんどがニジュウヤホシテントウの仕業です。ふた付きの空きビンに食用油を少し入れ、捕まえたニジュウヤホシテントウを入れると、つぶさなくて済みます。1シーズンで何匹とれるか楽しめますよ。来てほしい虫は、蜂やチョウです。受粉を手伝ってくれます。アブラムシがいれば、ナナホシテントウも食べに来るかもしれません。お子さんと楽しんで下さい。

## 土のこと、水のこと、大気のことを考えましょう

放射線で日本そして地球の汚染が進んでいます。子どもの未来そして100年後の地球はどうなるのでしょうか。私たちにできることは、生活を見直して、これ以上地球を汚さないようにすることです。目に見えるゴミ、見えないゴミも減らし、有害な薬品を使わないことです。

- ①生ごみを堆肥にする—ホームセンター等に専用のコック付き密閉バケツが売っています。毎日出る生ごみをバケツに入れ、発酵堆肥化促進材(EMぼかし)を混ぜあわせ発酵させると、最高の肥料ができます。これで野菜を作ると虫や病気に強い野菜ができます。生ゴミのリサイクルです。庭が狭い方、マンションの方も作れます。余った生ゴミ堆肥は畑を持っている方にあげれば喜ばれます。生命の一番小さな単位である微生物を使って生ごみを堆肥化し、土に戻してやることは、単にゴミを減らすことだけではなく、土を活性化させ、地球をきれいにすることに繋がります。
- ②殺虫剤を使わない— 蚊、蠅、ゴキブリ、蜂、アリ、いろいろな虫に対してたくさんの殺虫剤、そして野菜にくる害虫に対する農薬が売られています。これを使

うといずれ、水、土、大気、食品を通じて人間の体にも入ってきます。  
虫を殺すものは人間にも毒だと考えましょう。